

平成29年度第1回匝瑳市子ども読書活動推進計画策定委員会議
会 議 録

- 日 時 平成29年10月31日(火) 15:30～16:30
- 会 場 ふれあいセンター談話室
- 出席委員 石橋春雄委員(図書館協議会代表)、伊藤敏江委員(市内小学校代表)、嶋田祐子委員(市内中学校代表)、鶯塚京子委員(図書館ボランティア代表)、木村順子委員(家庭教育指導員)、嶋田純子委員(市内保育所代表)、秋山正子委員(市内幼稚園代表)、有田光委員(学校教育課長)、増田善一委員(図書館長)、日下部真一委員(生涯学習課長)以上10名
- 教育委員会 二村教育長
事務局 宇井主査、江波戸社会教育主事

1. 開 会 宇井主査が進行

2. 挨 拶 二村教育長

3. 自己紹介

4. 委員長、副委員長の選出

立候補者がいないため、事務局から委員長に石橋春雄委員を、副委員長に伊藤敏江委員を提案。

(全員の拍手により委員長、副委員長が決定)

5. 議 事 石橋委員長が議長となり進行

(1) 匝瑳市子ども読書活動推進計画について

議 長 事務局の説明を求める。

事務局 第1次匝瑳市子ども読書活動推進計画の説明をする。

第1次を受け第2次匝瑳市子ども読書活動推進計画の概要(案)を提案する。

議 長 事務局より第1次計画の説明と第2次の推進計画の概要の案についての提案があったので、質問がありましたら発言をお願いしたい。

【第2次匝瑳市推子ども読書活動進計画についての質疑】

- 委員A イメージ図は全体像をとらえやすく、基本方針にのっとったイメージになると思う。読書活動の連携・取組の強化に関しては、このイメージでわかるが、読書環境の整備と充実、啓発活動と推進体制の整備の内容に関わるものについては、イメージ図に付け加えられるのか。
- 事務局 複雑なものは考えておらず、シンプルなものイメージしているが、部会で検討する。
- 委員B 学校における子ども読書活動の推進に、学校図書を活用を充実していくための人的配置の推進とあるが、本計画を策定後、この5年間で学校への人的配置は含まれているのか。旭市はかなり進んでおり、学校図書館司書が週1で来校し、図書室の仕事を進めてくれている。土日出勤して仕事をしてもやりきれない状況である。
- 事務局 予算に関係することは難しい問題であるので、まずは、この2次計画を策定し、匝瑳市の人的状況に期待を込めるということで調整したい。
- 委員C 地域における読書活動の推進の具体的な取組の欄に2つあるが、子育てサークルと放課後児童クラブは個別の名称なので、取り組みではない。表現を変えたほうがよいのではないか。また、放課後児童クラブがあるのなら、放課後子ども教室も関係してくるのではないかと思う。
- 事務局 部会で検討する。
- 委員D 家庭における子ども読書活動の推進のお勧め本リストの配布に、図書館司書による啓発リーフレットの配布というのがあり、公共図書館における子ども読書活動の推進の図書館相互の連携に推薦図書を選定というのがある。平成18年度にも道徳から来た「心の読書」のリストがあったが、小中学校のこの学年ではこれ位を重点読書でやっていこうというリストなのか、また、毎年夏に出ているものなのか、その関連性があってもいいかと思う。
- 事務局 部会で検討する。
- 委員E 家庭における子ども読書活動の推進お勧め本リストの配布でリーフレットを配布するとあるが、どこへどのように配布するのか明記してほしい。図書館に行かなければわからないし、手に入らない。
- 事務局 明記する。

- 委員C 旭市では子ども読書記念の日にブックリストの配布をした。匝瑳市も計画に載せるか載せないか、部会で協議していただきたい。
- 委員F 入学時の家庭に配付の資料の中に本のリストをはさんでもらう方法もある。また、図書館カードを入学の際に、配布をすることはできないだろうか。子どもによっては、重なってしまうが部会で検討してほしい。
- 事務局 イメージ図は、具体的な取り組みがこの中に示されていくと、より計画推進がどのような方向に向かっていくのかが全体的に見えると思う。
- 議長 部会で検討する。
- 野栄地区では、のさかスポーツクラブ、のさか文化、図書館だよりの3つの会報を220部ほど発行している。5年ほどやっているが、うまく連携してやっていけば図書館の情報・企画もお知らせできるのではないかな。
- のさか文化祭の初日に空きがある。2年前、図書館と一緒にイベントを実施した時は人気があった。連携次第では活動もいろいろ出てくると思う。
- のさか図書館は学校関係にも充実している。児童本も入れてもらっており、連携をどう図っていくかきっかけを見つけ、活かせればと思う。本日出た意見を部会に持ち帰り、検討していただきたい。